

イナウトドア 合同会社  
代表

### 森 豊雪

学業修了後は大手石油会社に入社し、30年以上にわたって勤務する。55歳を迎えて新しい道を模索し始め、もともと趣味で活動していたアウトドア分野で起業することを決意。イナウトドア（同）を立ち上げた現在は、オリジナルアウトドアグッズの開発や、自然保護のボランティア活動に加え、太陽光発電による売電事業も手掛けている。



# オリジナルグッズ開発を軸に成長し続ける 自然の魅力を伝えるアウトドア専門会社

神奈川県三浦市を拠点に、アウトドア関連事業を手掛けているイナウトドア（同）。同社の森代表はアウトドアをこよなく愛し、自らが「こんなものが欲しい」と思う商品の開発に注力する。多角的な展開を見据える代表の経営ビジョンに、俳優の名高達男さんが迫った。

Guest Comment>>



### 名高 達男（俳優）

対談中、目を輝かせながら事業について語ってくれた森代表。第二の人生としてこれほどやりがいを持てることに取り組んでいらっしゃるというのは、夢があって素晴らしいです。何だか羨ましく思えました。三浦市は個人的にも大好きな街なので、ぜひアウトドアの分野からも地域を活性化していかれることを、私も陰ながら応援しています。

### 好きなことを第二の人生に

名高 森代表は、もともと大手の石油会社に長年お勤めだったそうですね。まずは、アウトドア業界で起業されるまでの経緯からお聞かせ頂けますか？

森 私は学業を終えて石油関連事業を手掛ける会社に就職し、それから55歳まで一筋に勤務してきました。その間、特別に強い独立心を持つことはなかったのですが…シングルファーザーとして仕事と子育てを両立する中で、ずっと母に手伝ってもらって苦労をかけていたので、「そろそろ楽をさせてあげよう」と思い、退職することにしました。

名高 なるほど。ご家族のことを考えて

新しい道を模索されたのですね。

森 ただ、まだまだ自分自身は仕事をして世の中に貢献したいという思いもあったため、家族を支えながらできることはないか考えてみました。そこで思い浮かんだのが、アウトドア分野での起業だったんです。

名高 以前からアウトドアは趣味でいらしゃったのですか？

森 そうですね。子どもたちを連れて昔からアウトドアを楽しんでいました。それに、「自然に携わる仕事がしたい」という思いも強く、在職中から、三浦海岸のゴミ拾いなど自然保護につながるボランティアには積極的に参加していたんです。そこで、そういった活動も続けつつ、

アウトドアの魅力を伝える事業を手掛けようと、当社の立ち上げに至りました。名高 好きなことで起業されるというのは素晴らしいと思います。スタートされてみて、手応えのほどはいかがですか？  
森 やはり生き生きと活動できているという実感はありますね。日中は母の手伝いもできていますし、思い描いていた通りの生活になっています。事業に関しても、まだ始めたばかりではありますが、周囲の方からさまざまな要望や意見を頂けていて、ニーズがあることは分かったので、これからが楽しみです。

### 「市場にないもの」をつくる

名高 改めて、現在はどのような事業を手掛けていらっしゃるのでしょうか。

森 主事業として力を入れているのは、オリジナルアウトドアグッズの開発です。その傍らで、再生可能エネルギー事業として太陽光発電の売電にも乗り出しています。

アウトドアグッズに関しては、すでにTシャツなどを販売しており、「市場にないものをつくっていく」というコンセプトで、多くのアイデアを温めています。例えば、アウトドアでは必ずと言って良いほど重宝されるのが「焚き火台」ですが、ほとんどの既製品はしばらく燃やしているうちに灰が溜まって、空気の通り

道がなくなり燃えにくくなってしまいます。それを構造的に解消する新たな製品なども、当社で開発できればと思っています。その他にも、皆さんが既製品を使用される中で、「ここがもう少しこうだったらいいのに…」と思われる部分を解消できるような製品をご提案していきたいですね。

名高 代表ご自身が長年アウトドアを実践してこられたからこそ、そうした既製品の問題点や、解決のためのアイデアを思い付くことができるのだと思います。

森 経験も趣味レベルではなかなか厳しいというのが現実ですので、アウトドア仲間からの知識やアドバイスを受けながら、より良い製品づくりをできればと思っています。また、「イナウトドア」という社名は「イン・アウトドア」から取ってまして、私が一時期、アウトドア用品を家具として使って生活していたことに由来しています。最近では、そうした暮らしが「室内アウトドア」として流行してきている流れがあるそうなので、当社としても、屋内・屋外兼用のグッズ開発に力を入れたいですね。そうして、さまざまな角度からアウトドアの魅力を広めていきたいと思っています。

### 多角経営でさらに成長を

名高 お話を伺っていると、代表が本当

に楽しそうにお仕事をしていたらしゃる様子が伝わってきます。体もまだまだ動く50代のうちに独立されたということが大きかったのではないですか？

森 そうかもしれませんね。新しいことに挑戦する日々で、私自身も、今は前向きなエネルギーに溢れていると感じます。当面は、太陽光発電の事業で基盤を築きながら、アウトドア事業でさまざまなチャレンジをしていきたいですね。それと併せてボランティア活動も行い、自然や地球環境を考え続ける会社でありたいと思っています。

名高 堅実な活動を続けていかれるのですね。では、今後の目標としてはいかがでしょうか。

森 当社の活動を通じて、1人でも多くの方にアウトドアを嗜んでもらいたいですね。特に若い世代の方にお話を伺うと、「アウトドアに興味はあっても、企画や準備は大変」とおっしゃる方も多いです。そこで、そうした手間を省ける代行サービスの立ち上げなども検討できたらと考えています。他にもいろいろとアイデアはありますし、それを、この三浦から発信していくことで、観光地という側面に加え、「手軽にアウトドアを楽しむ」という新たな要素も含めてPRにつなげられたら嬉しいです。そうして、これからも一歩一歩会社を成長させてまいります。

Company Data>>



### イナウトドア 合同会社

〒238-0114  
神奈川県三浦市初声町和田 3079-3  
URL <https://www.inaoutdoor.work/>  
Twitter @moritoyo1

